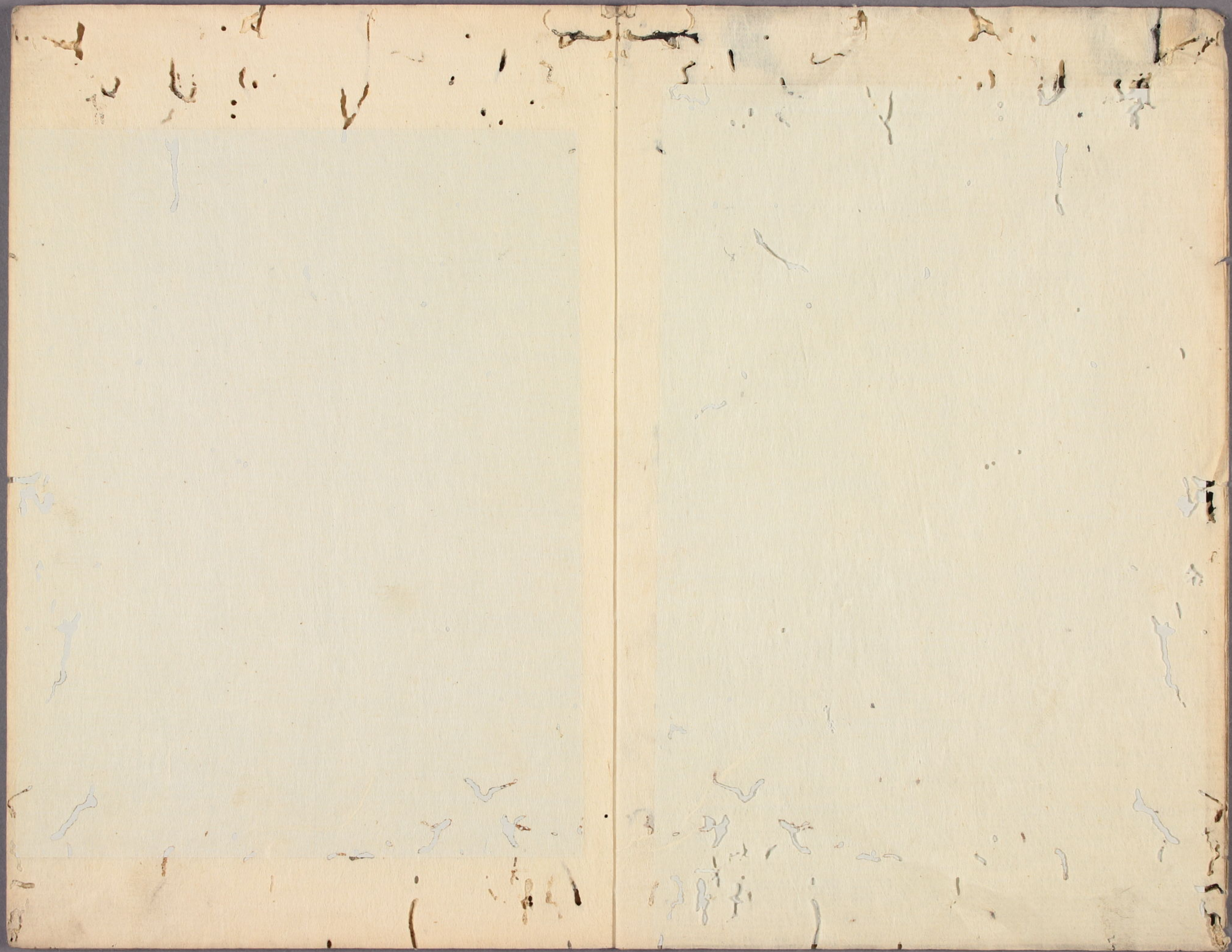




Handwritten calligraphy in black ink on aged, yellowish paper. The main text consists of large, bold characters in cursive script, likely reading '子子子子' (Shi Shi Shi Shi). A central vertical strip of gold leaf contains smaller characters, possibly '子子子子' (Shi Shi Shi Shi). The paper shows signs of wear, including foxing and small tears.





暖くもむと人しく此戸相あひく
執田のうらよゆきぬ渡りあさハ
くならゆい山并松のうらもんは
いとれとらふや重み枝折をむら
竹塙をちりきよきちりき
なましきをた母むかひら

二月十八日

まめや人さたれ伊執の氣を

荷全

桜ちる申馬ふかく連重五

山うすむ月一時な跋立と雨相

體なるれゆなあさるや李風

志不風よりしく空に鶴なく昌圭

くともや沖の志思く見ん執手

須テ幸々汗の帷子脱久む
 をのくふるこ帯を戴く
 文王れくやしよりもぶへり
 るの帯れ角れなき
 肌を一度を骨を解く
 傾珠乳をのく寸辰明
 帯拂小流よ人の新福
 ちやくとのこ浄染くし

方々
 荷兮
 李凡
 雨相
 荷兮
 昌圭
 雨相
 昌圭
 重五

多居より半乃奥れ砂り
 花は女男れ氏ウトナカコあく家比
 柳よき陰そあけら日鞠かきや
 入りき日又蝶いりくなら
 くの懐り梓キみか
 思ふときをぬる切跡
 いまうしうら五位の針立

昌圭
 李凡
 重五
 荷兮
 李凡
 雨相
 荷兮
 昌圭

松の本より五月十日から行幸
 へしこれあはれなる御時なり
 御朝豆腐と書ふはれりり
 念佛堂なる秋ありんや
 穂多生ふ花をばなほな
 露名と標れなるはる月
 傘の内近付はゆる田の暮は
 物産おくらとあ家がく
 白相
 夢凡
 荷兮
 五
 風
 昌
 文
 相

かときくは西行あはれ身讀む
 約執ひしを二人しとを
 在るあはぬ局濃の年を
 紀急はとては源の首知
 いふを花と非ともいへり
 中も見も多しなりやく
 白相
 夢凡
 昌
 文
 相

三月六日野水亭

旦葉

春の夜や 柳の川 山は 雲は
 かぬ 一 流 水 すすむ 川の 鐘
 雲の 橋 石 供 あり 人 橋 あり
 口 すすく 一 手 流 水 あり
 松 風 又 た 水 ぬ 船 の 酒 の 香
 春 夜 一 あり 虫 とも 月

野水 越人 荷分 越人 ねん 執事

笠 白 衣 左 葉 系 色 あり
 葉 あり 垣 下 あり 子 あり
 表 町 あり 二人 髪 剃 人
 曉 いる 車 あり
 鱒 あり 大 津 の 濱 あり
 何 あり 家 園 の あり
 旅 衣 あり あり あり
 蘇 あり あり あり

中 葉 旦 葉 越 人 荷 分 旦 葉 越 人 ねん 執 事

里人は蘆コモを施す煉の鳥
月なき浪は重なるく櫓
あらいまゝ木の根は花の籠り
風おと家来の湯の山
のとせしや染束の袂に帯
心待のえくふ代は眉の圓
物思ふ軍は中と片狼
名も猪栗とらく中上ヶ
成人
羽衣
雪水
且葉
成人
荷兮
野鳥

大幸と急佛とあふる恵次柳
そのあまを我よなき隣也
朝夕はあ葉のきゆる枸杞
まある廿日とやまの粉
一換守宿とるうふ寺なれや
こは魂おほるまはるきの月
陽春のそと跡ある夫婦
まゝの神は古舟いさく
成人
荷兮
且葉
成人
荷兮

田を揚ぐむんる里よまらりり
 カの節とほまゝ申れり
 漣サナヒや三井の末寺の流りり
 高ひくのこり雪の山く
 見流をきりりは九口の月をきり
 君の流と流り氷めりりを
 ねり
 荷子
 哉人
 且葉
 雪水

三月十六日且葉の田家日
 とやうな
 雪水

蛙のそやのくゆ
 顔よあつるまゝのこりり
 願立る忘本の真交宿
 ありく人そんをるのま
 まくゆる波のみの月影
 芦の穂と折る傘の端
 ねり
 哉人
 且葉
 雪水
 荷子
 哉人
 且葉
 雪水

磯濱り 施餓鬼の傍の集り 且東
 岩の乃より繁茂 見ゆる里 中水
 西の日も難焼 ぐらむ煙を伴 荷方
 ひらき事も 旅の一 中水
 解くや 坊をた 便を 渡りし 中水
 解くや 坊をた 便を 渡りし 中水
 と 宵を 更けりし 中水
 日十九日 荷方 室中

嘆息の 兼よ 八木 しろ 露を 代人
 秋の 和名 一 しの 家 順 且東
 和丁の 聲よ 又 何の 大に 打ぬ 中水
 別の 月よ 又 何の 大に 打ぬ 荷方
 秋の 和名 一 しの 家 順 且東
 春の 和名 一 しの 家 順 中水
 永き 和名 一 しの 家 順 荷方
 養の子 草を 生む 中水 中

浪錦の瓢をありと来りて
連歌のもとよあはるいりし
滝壺は早押あまきくきりん
空若とりの籠よさきくれ
むさかりは年キヌきくありく様
延二敷もひろき家 店
朝毎の露あまれさな夜池
暮あを送るさぬくの月

中水
冬文
秋人
旦葉
冬文
秋人
旦葉
冬文
秋人

風のなき秋の日舟は細入よ
夕船の漆のぬりりくひり
あまやれさくらぬ籠てんはあぬ
はらり一期年の名をかし
永春のあ水汲は昼起く
餅をくいはいさふ君の代
山を花不端くす枝ふ早
暑くすてすす重花鳴り也

冬文
秋人
旦葉
冬文
秋人
旦葉
冬文
秋人

追加

三月十九日舟泉亭

故人

山崎此あふなき湖のくぼれ小

蝶水此こはみちく定けし

舟泉

まはる或や餅酒さくま雪ありと

延雪

行幸のきえんは洗ふおま

久松

朔日と鷹も川艇治のふめく

荷分

月たつきそふれ門もやく阿を

執事

巻

昌隆此松とハみぬ清代のま

利重

え日の木れ月れ競る足ゆ

三入

神喜の遠里半のなまり小

昌吉

はさのま海を福あらしまの京

昌相

門を松若森園の雪をこし

舟泉

鯉の音水玉の周く柳白し

昌吉

舟くれ小松と雪の強りなり

昌吉

雲の人形牡丹を舞ひしきり
 櫻々すえ百里に晴りう風
 星はくくくすあお先の雲の色
 りふとも小杉負らん半の夢
 朝日二分柳の細く白ひの糸
 先ゆく雲の末ひびきやあふ
 芹掃くくくけくはなまき
 ねくれくる人の許りしとく

杜園
 屏夕
 春霞
 延雪
 花雪
 日
 旦暮
 旦暮

んみれと白壁いやー夕やあ
 大池や蛙とひこむ水のやと
 傘張の膝を胡蝶のやとりか
 心や花壇振くのほろやー
 花の匂はくさるよりあは死んか
 春即吟

夕やあ
 芭蕉
 きま
 糸泊
 紙人
 杜園
 李凡

梅もまろく 梅のまき 御小

高野

鑑別

藤の花きくく川わらうあか

城人

山畑の葉つととまきよりか

重五

吸いと川は藤くれぬあまの香

日

万友

和くま守りの山守の尾

九白

和くま守さゆれを焼くわりおひ

李風

このとき板をの背戸の一里塚

城人

うけまを葉のられ梅のつらな

杜因

葉竹のくくまきまの荷うな

龜洞

傘ときくまきく管かんるお小

舟泉

武新坊をさあぬ

そのまきやまきくゆく空の衣川

高露

色板のおひまきくゆりく

明く

鳥聲よくおくれをりて秋の月 残白

老冊曰知足之足常足

夕ぐれよ雑炊煮き茶屋小 哉人

帯木北徹ゆきおれと鳴蚊小 柳島

ほき木となむる中よ匠よはる 塵文

壹州とほふ名なき花の色 荷守

蓮池の深さよすく浮世小 行

暁の夏陰葉屋の逢きこゝろ 昌吉

夏川の音よ宿ある木竹路小 多吉

輝陰局ノ三景無あはれ火宅

とつる心を

六月の汗ぬらひ居る夏小 哉人

秋

宵声の初なきい草をこころす 昌吉

らたぬのむね

魂糸はしらよ白夕一なる 哉人

一 麻入る物小 西桐
重おしく人と体むる月見小 芭蕉
山寺みまはくやの月お小 歌人
瓦みく家も面白や秋の月 聖水
八幡をかきる屏風の絵を
果て意の顔のこまの月見舟 曰
待意
らぬ版を夜来さる一見おろ 荷号

閑居坊意

秋いしり琴板うれく麻ぬぬ 高号
船顔も末一りなる来り 舟泉
馬とぬれ牛と夕日の村えられ 杜園
芭蕉とぬと宿し作りと
大坂伝
如行
雪の原舞ゆの子れ居るな 号院

馬をさへふりて音のあゝ小
芭蕉
城人

芭蕉翁をゆりてくる時

此の氷やこゝろ名残る
松園

臣古よりあるを
りてく

あゝ〜
あゝ
あゝ

貞享三丙子年仲秋下院

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho) on aged, yellowed paper. The text is arranged in two vertical columns, reading from right to left. The characters are bold and expressive, with significant ink bleed-through and some damage to the paper surface. The right column contains the characters 天 (Heaven) and 地 (Earth). The left column contains the characters 人 (Human) and 道 (Way/Path). Together, they form the phrase 天地人道 (Tenchi Jindō), a fundamental concept in Japanese thought. A green cord is visible on the left edge of the paper.